

# 高校生 I C T 2019 Conference

in 福岡

人はなぜ SNS を使うのか？ ～改めて考える SNS の使い方～

## 開催報告書

2019 年 9 月 21 日(土)11:30-16:30

【会場】： LINE Fukuoka 株式会社

主催

福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会

高校生 I C Tカンファレンス実行委員会

(構成団体) 安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省

2019 年 12 月 27 日

## 目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2019 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2019 in 福岡 開催概要.....	5
4. 主担当.....	9
5. 高校生 ICT Conference 2019 サミット.....	9
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	9
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	9

## 1. 開催概要

名称：	<p>高校生 ICT Conference 2019</p> <p>テーマ： 人はなぜ SNS を使うのか？ ～改めて考える SNS の使い方～</p>
主催：	<p>福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会 高校生 ICT カンファレンス実行委員会 (構成団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心ネットづくり促進協議会</li> <li>● 大阪私学教育情報化研究会</li> <li>● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会</li> </ul>
共催：	内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省
後援：	<p>一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、福岡県公立高等学校長協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会、福岡県私学協会</p>
協賛：	<p>グーグル合同会社、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリーン株式会社、アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社メディア開発綜研、株式会社インテグラル、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、ジョイズ株式会社、エースチャイルド株式会社、Twitter Japan 株式会社、一般社団法人情報教育研究所</p>
協力：	<p>株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイトジャパン株式会社、LINE 株式会社</p>
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&amp;活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2018 年度には、全国 18 拠点にて開催し、計 137 校 562 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>【本年開催テーマのコンセプト】</p> <p>2011 年に高校生 ICT カンファレンスがスタートして 9 年目、第 1 回のテーマは「ネ</p>

	<p>ットとケータイの問題点」でした。9年の時を経て、高校生のネット接続ツールは、ケータイからスマホへ変わり、Facebook、LINE、twitter や Instagram と次々と新しいツールが登場しながらも、本質が SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）でのコミュニケーションであることに変わりはありません。</p> <p>SNS を使った犯罪やネットいじめは引き続き続いており、不適切動画の投稿による炎上は、対象企業の事業継続を左右する社会問題となっています。</p> <p>このように、様々な問題を抱えつつも、SNS はどうして高校生をはじめ、多くのインターネット利用者を惹きつけるのでしょうか？</p> <p>SNS の魅力やその功罪について熱い議論を通じて、改めて SNS との付き合い方や使い方について考え、提言をまとめます。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取り組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地 募集人員等：	<p>募集参加生徒 30 名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）</p>
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2019 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長）</li> </ul> <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者団体訴訟室長）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所）</li> <li>• 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事）</li> <li>• 小城 英子（聖心女子大学）</li> <li>• 他、関係者団体、事業者等</li> </ul> <p>【事務局】</p> <p>安心ネットづくり促進協議会</p> <p>〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階</p> <p>TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>
--	--

## 2. 高校生 ICT Conference 2019 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
札幌	2019 年 9 月 28 日	内田洋行札幌ユビキタス協創広場 U-cala
帯広	2019 年 9 月 23 日	十勝プラザ
宮城	2019 年 9 月 28 日	東北工業大学一番町ロビー
山形	2019 年 10 月 5 日	米沢伝国の杜
茨城	2019 年 8 月 23 日	茨城県教育研修センター
神奈川	2019 年 8 月 24 日	岩崎学園
新潟	2019 年 8 月 20 日	新潟コンピュータ専門学校
石川	2019 年 8 月 25 日	金沢市リファーレ会議室
長野	2019 年 9 月 28 日	安曇野市明科公民館
静岡	2019 年 9 月 29 日	専門学校 静岡電子情報カレッジ 森下町キャンパス
愛知	2019 年 10 月 19 日	名古屋女子大学
大阪	2019 年 9 月 1 日	内田洋行大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
奈良	2019 年 9 月 29 日	帝塚山大学 奈良・学園前キャンパス
高知	2019 年 9 月 7 日	オーテピア
福岡	2019 年 9 月 21 日	LINE Fukuoka
佐賀	2019 年 10 月 13 日	佐賀大学
長崎	2019 年 8 月 8 日	諫早文化会館中ホール
大分	2019 年 8 月 25 日	ホルトホール大分
鹿児島	2019 年 8 月 17 日	鹿児島大学
サミット	2019 年 11 月 3 日(祝)	東京ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行)

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。(サミット熟議のみ参加) ※2018 年度実績：福井、沖縄

### 3. 高校生 ICT Conference 2019 in 福岡 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など73名の参加者を得て、人はなぜSNSを使うのか？～改めて考える SNS の使い方～をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p><b>【リアル熟議】</b> 司会進行・主旨説明 福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課 西川 幸子 様</p> <p>高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明していただきました。</p> <p><b>開会の挨拶</b> 福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課長 木下 尊雅 様</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ SNS の浸透により、簡単に情報を得たり、さまざまな人とコミュニケーションを取ることができる便利な社会になった一方で、SNS を使った犯罪やいじめ、不適切な動画の投稿など、負の部分も現れてきている。</li><li>・ 本日は、皆さんに SNS の使い方を改めて考えていただき、様々な角度から意見を出し合っていたきたい。</li><li>・ 大人には思いつかないような新鮮な提言が出てくることを期待している。</li></ul> <p><b>第一部 事業者による講演</b> LINE 株式会社 公共政策室公共政策担当 高橋 誠 様</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 皆さんの熟議のヒントになることをお話ししたい。</li><li>・ インターネットのトラブルなどを考える中で、ルールを決めるという対策が挙げられることがある。ルールを作るだけ、作られたルールを守るだけではなく、自分で考えて行動することが大切。</li><li>・ インターネットは相手の表情や雰囲気からわからないため、相手がどう感じるかを想像しながら、自分の気持ちを上手に伝える必要がある。</li><li>・ SNS に起因するトラブルはいくつかあるが、トラブルが同じでも理由が異なれば、対策も変わってくる。</li><li>・ SNS に起因する被害児童数をどうやったら減らせるかということが、考える上でのポイントとなってくる。</li></ul>
----	--

- ・LINEでも年齢制限や公開領域の監視、通報窓口の設置など対策をとっている。
- ・また、SNSによる相談窓口の設置や生活を便利にする取組み（福岡市での粗大ごみ回収の申込み等）にも取り組んでいる。
- ・インターネットやSNSの利用にあたり、トラブルに合うことなく、生活を便利にするものとして、うまく使いこなすにはどうしていけばいいのかという観点が必要になる。

**エースチャイルド株式会社 代表取締役 西谷 雅史 様**

- ・このカンファレンスをいい機会として、インターネットやSNSの使い方についていろいろ考えてみてほしい。
- ・今日は、テーマを的確に捉え、じっくり突き詰めて議論する、エッセンスを逃さないということをお話ししたいと思う。
- ・まずは、班の中で解釈やゴールを共有する。根本的な原因を深掘りしていく。エッセンスとして、「高校生が」できることを考える。自分たちだったら何ができるか、自分たちだからこそできるという視点も考えてほしい。
- ・プレゼン資料作り、発表の仕方もポイントになってくる。
- ・主に考え方、議論の仕方の話をしたが、ぜひ、新しい方法や改善策を想像し、明るい未来、世の中の課題解決について全力で議論してほしい。

### **アイスブレイク、 自己紹介**

7つのグループに分かれ、昼食をとりながら各グループ内で自己紹介などを実施しました。

### **第二部：熟議「人はなぜSNSを使うのか？ ～改めて考えるSNSの使い方～」**

福岡県立大学で子どもサポーターとして活動する学生が、ファシリテーターとして各グループに入り、高校生の熟議をサポートしました。メモや付箋紙を活用しながら模造紙に貼り付けて意見を整理分類しまとめていきました。

### **第三部：グループ発表**

各グループともプレゼンテーションソフトを活用して3分程度の発表を行いました。（詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください）

その後、参加生徒とファシリテーターにより、11月3日に開催される東京サミットに行く代表校の選定投票を行い、福岡県立博多青松高等学校の生徒が代表者に選出されました。

最後に、高校生 ICT Conference 実行委員会 米田 謙三 委員長より講評をいただきました。

参加校：	福岡県立糸島高等学校 福岡県立香椎高等学校 福岡県立福岡中央高等学校 福岡県立福岡工業高等学校 福岡県立博多青松高等学校 福岡県立春日高等学校 福岡県立武蔵台高等学校 福岡県立遠賀高等学校 福岡工業大学附属城東高等学校（順不同）
日 時：	2019年9月21日（土） 11:30-16:30
場 所：	LINE Fukuoka 株式会社（福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F）
参加人数：	熟議参加生徒 43人 見学者・関係者 30人（教員・教育関係者・ファシリテーター・その他） 合計： 73人
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略）  【1班】7名 福岡県立糸島高等学校2年生、福岡県立香椎高等学校1年生、福岡県立福岡工業高等学校2年生、福岡工業大学附属城東高等学校1年生・2年生、福岡県立博多青松高等学校2年生、福岡県立春日高等学校1年生 〔ファシリテーター〕 福岡県立大学2年生  【2班】7名 福岡県立糸島高等学校2年生、福岡県立香椎高等学校2年生、福岡工業大学附属城東高等学校1年生・2年生、福岡県立博多青松高等学校2年生、福岡県立武蔵台高等学校1年生、福岡県立遠賀高等学校2年生 〔ファシリテーター〕 福岡県立大学2年生  【3班】7名 福岡県立糸島高等学校2年生、福岡県立福岡中央高等学校2年生、福岡工業大学附属城東高等学校1年生・2年生、福岡県立博多青松高等学校1年生、福岡県立武蔵台高等学校2年生、福岡県立遠賀高等学校1年生 〔ファシリテーター〕 福岡県立大学2年生  【4班】6名 福岡県立糸島高等学校2年生、福岡県立福岡中央高等学校2年生、福岡工業大学附



属城東高等学校1年生・2年生、福岡県立博多青松高等学校1年生、福岡県立武蔵台高等学校2年生

〔ファシリテーター〕

福岡県立大学2年生

**【5班】6名**

福岡県立糸島高等学校1年生、福岡県立福岡中央高等学校2年生、福岡工業大学附属城東高等学校1年生2名、福岡県立春日高等学校2年生、福岡県立武蔵台高等学校1年生

〔ファシリテーター〕

福岡県立大学2年生

**【6班】5名**

福岡県立福岡工業高等学校2年生、福岡工業大学附属城東高等学校1年生2名、福岡県立春日高等学校2年生、福岡県立武蔵台高等学校1年生

〔ファシリテーター〕

福岡県立大学3年生

**【7班】5名**

福岡県立香椎高等学校2年生、福岡県立福岡工業高等学校2年生、福岡工業大学附属城東高等学校1年生、福岡県立春日高等学校1年生、福岡県立遠賀高等学校3年生

〔ファシリテーター〕

福岡県立大学3年生

〔ファシリテーター（全体補助）〕

福岡県立大学3年生

#### 4. 主担当

安心ネットづくり促進協議会	事務局
LINE Fukuoka 株式会社	会場、什器備品手配
福岡県青少年育成課	飲食手配、庶務
各団体、事業者等	講演、ノベルティ、資料提供 他

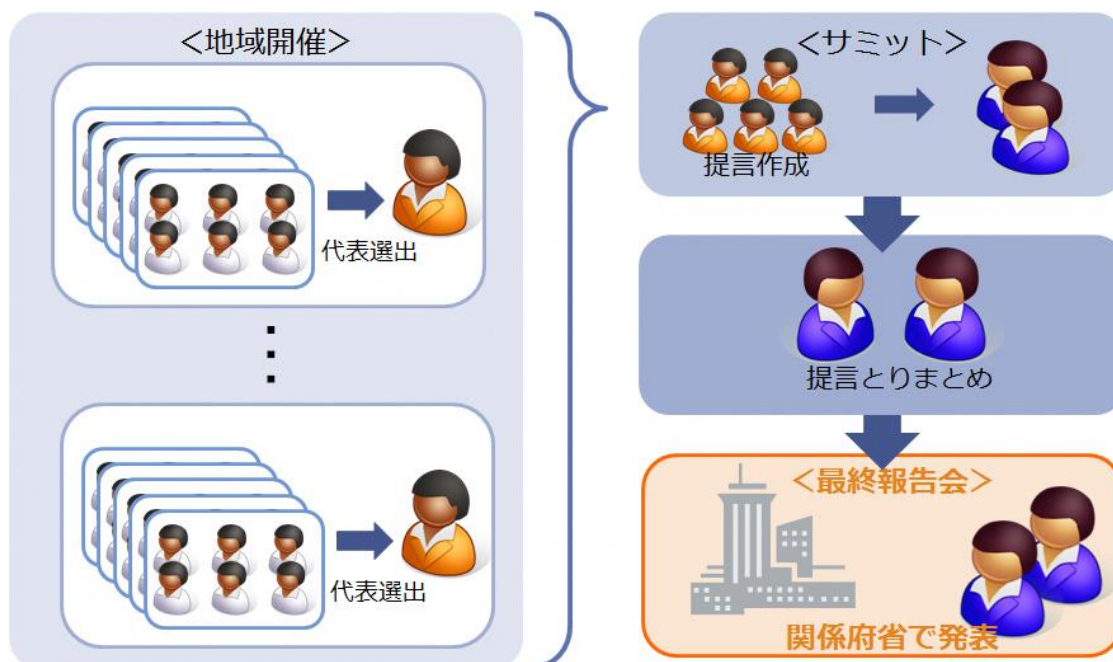
#### 5. 高校生 ICT Conference 2019 サミット

高校生 ICT Conference 2019 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

#### 6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2019 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏る。



#### 7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2019 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2019 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以上